

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 帝王切開時の1か所穿刺法で行う腰部硬膜外麻酔併用脊髄くも膜下麻酔における硬膜外腔までの深さと超音波画像からの計測値の相関についての検討

[当院研究責任者] 部署名 麻酔科 氏名 伴 泰考

[研究の背景] 従来硬膜外麻酔や脊髄くも膜下麻酔は触診により脊椎の位置を認識して行うことが当然であったが、近年超音波装置の普及に伴って、穿刺前に超音波装置で脊椎の位置を認識したうえで行うことで成功率が高まるとの報告が多くなされている。当院でも穿刺位置の確認のために穿刺前に超音波スキャンすることを取り入れているが、位置確認の画像が硬膜外腔までの深さの予測にも使えるのではないかと考えた。

[研究の目的] 穿刺前に超音波で観察し、保存しておいた画像から得られる目印までの距離と、実際の穿刺の深さの関連について検討すること。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2021年4月以降に当院で1か所穿刺による硬膜外併用脊髄くも膜下麻酔で帝王切開術を受けられた方のうち、超音波でプレスキャンした結果が残っているもの

●研究期間： 承認日～2025年3月

●利用する検体、カルテ情報、検討方法

検体：なし

カルテ情報：麻酔記録から本穿刺の深さの記録を得る

その他の情報：ブロック施行時の超音波画像

超音波画像から計測した脊椎の各部位の深さと実際の穿刺長を記録し、相関をみる

●検体や情報の管理

情報は、当院のみで利用します。その際に患者さん個人の情報は匿名化します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

この研究の情報は個人情報を含まずに保存します。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 公立陶生病院 麻酔科 氏名 伴 泰考

電話 0561-82-5101

FAX 0561-82-9139